

国際消化管研究センターについて
(英語名 : SAMURAI GI Research Center)

○センター設立の背景

消化器分野では、内視鏡などの技術開発では日本は欧米の遙か先を走っているが、臨床研究は欧米が先行しており、この分野における日本のガイドラインは、必ずしもアジアに適したものにはなっていない。欧米人とアジア人では、民族や文化が異なり、遺伝子、食、生活習慣が異なるからだ。そこで、アジアの臨床研究をリードする香港中文大学医学部と本学医学部が連携して、アジア人のデータを集め、アジアに適した治療法の開発や創薬につなげることを目的に国際消化管研究センターを設立した。

英語名に「SAMURAI」をつけたのは、日本を中心としたアジアの 20 施設で、臨床研究を展開しているチームが「SAMURAI」(代表 : 荒川哲男) と名付けられていることによる。

○センターの目的

本センターは、難治性消化管疾患に対する国際共同研究の考案、実施、結果解析、医学専門誌を含めた各種媒体による研究成果発表などを一貫して行い、質の高いエビデンスを創出することによりアジアの臨床研究レベルを向上させることを目的とする。

また、国内外から若手医師を招聘し、消化管臨床研究に必須である消化器内視鏡検査および手技を習得させて研究の質を向上させるとともに、研究成果や習得技術・医療をアジアの一般市民に還元する。

○組織・スタッフ

センター長 荒川 哲男 教授 (兼任)
副センター長 Francis KL Chan 客員教授 (兼任)
教員 藤原 靖弘 准教授 (兼任)
渡邊 俊雄 准教授 (兼任)
富永 和作 准教授 (兼任)
福田 隆 特任准教授
谷川 徹也 講師 (兼任)
藤川 佳子 特任助教

○香港中文大との提携内容

多施設共同臨床研究の推進
スタッフの臨床・研究交流
学術集会の共同開催 など

○事務局

大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学